



# いつもよい少しかっかしていませんか？

**1 コンプレッサの調子が悪い…**

吐出エアーが高温！

最近、すぐ止まるし効率も悪い…原因はなんだろう？

コンプレッサ

**2 吐出エアーの高温でこんな問題が発生！**

コンプレッサ本体の過熱

高温のエアー

潤滑油の劣化

性能低下 寿命が短くなる

部品劣化 故障・停止

フィルタ・ドライヤの負荷増

目詰まり 水分トラブル

コンプレッサ

全体のエネルギー効率低下

電気代の増加 生産性の低下

**3 吐出エアーの温度を見る化して管理！**

吐出エアーの温度を常時監視！異常の早期発見で対策ができる！

68.5℃

温度の傾向を記録

設定値で警報

異常の早期対応

**4 安定運転で、みんながうれしい！**

適切な温度管理でトラブルを防ぎ長く・効率よく運転できます！

コンプレッサ

故障・停止の防止

電気代の削減

機器の長寿命化

安定した生産活動

## 吐出温度は色々なことがわかります！

小さな温度の上昇が、大きなトラブルの前ぶれかもしれません。

- ☒ 負荷の増加
- ☒ 冷却不良
- ☒ フィルタの目詰まり
- ☒ オイルの劣化

休みなく連続で計測管理

あらあら、大変

あつ！吐出温度が上がりすぎています！このままだと危険かも…

部品の劣化や故障につながる可能性が…

確認ポイント

- ☒ 冷却状態は良い？
- ☒ 負荷はかかりすぎていない？
- ☒ フィルタは詰まっている？
- ☒ オイルの状態は？

早期に気づいて対処することで、トラブルや停止を未然に防ぎます！

吐出温度 95℃

コンプレッサ

吐出温度 95℃

ヘルプ 圧力計 前回の空気漏れ指数 半圧時間=10.00時間

「コンプレッサー省エネ・予兆保全システム」

「コンプレッサー見守り盤」

運転中 アンロード中 補機運転中 主機補機正常

現在の計測値

|      |          |
|------|----------|
| 配管圧力 | 0.41 Mpa |
| 吐出温度 | 59.9℃    |
| 機器振動 | 0.21G    |
| 負荷電流 | 104.7A   |

【昨日の診断結果】

|       | 良好    | 悪化 |
|-------|-------|----|
| ●漏れ具合 | □□□□□ | ■  |
| ●圧力変動 | □□□□□ | ■  |
| ●発熱具合 | □□□□□ | ■  |
| ●振動具合 | □□□□□ | ■  |
| ●省エネ度 | □□□□□ | ■  |

比較基準は中央(導入後1月平均)

ネットワーク不要なのでハッキングの心配なく、クラウド契約料、毎月の維持費、年間バージョンアップ費不要で、更に全自動なので管理者も不要です